

令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和6年度の振り返りと令和8年度の取組検討）

施策No	222		
施策名	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ・レクリエーションに親しみ、健康づくりに取り組む人の増加を図ります。 ● 生涯スポーツ及び競技スポーツの取組を推進します。 ● スポーツに親しむことができる環境を整備します。
関係課	スポーツ推進課、政策調整課、いきいき高齢課、健康増進課、都市整備課、教育総務課、学校管理課、学校教育課、生涯学習課		

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察と目標年度（令和7年度）の目標値達成見込み

指標	単位	実績基準値				実績値		見込値	目標値	最終年度（R7）の目標値達成見込	R6年度の実績説明・考察及びR7目標値達成見込判断の理由
		R2	R3	R4	R5	R6	R7				
a 週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	%	40.9	42.4	39.2	41.4	40.2	42.5	50.0	④現在の想定では目標達成が困難	令和2年度以降、スポーツ教室やレクリエーションフェスティバルなど、スポーツを行うきっかけ作りの事業及び学校施設開放を行いスポーツを行う場の提供を実施した。令和7年度は、（①案：各事業の参加者を増加させるため積極的な周知を行う、②案：目標達成に向けた検討とその実施を計画するが）現状の指標から推察すると目標達成は困難であると考える。	
b 健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	70.7	72.8	73.5	75.2	72.6	73.5	76.5	④現在の想定では目標達成が困難	令和2年度以降、健康づくりに取り組んでいる市民の割合は増加していたものの、令和6年度は2.6ポイント下がってしまった。	
c 市スポーツ指導者登録制度への登録者（累計）	人	-		97	111	135	165	60	①既に目標値達成済み	令和2年度以降、指導者資格取得費用の補助を行い指導者の育成に努めている。令和7年度も引き続き事業に取り組むため、目標を達成すると判断した。	
d 安全に使用できる市有スポーツ施設の提供数	施設	32	37	41	41	41	41	42	④現在の想定では目標達成が困難	令和2年度以降、施設長寿命化計画に基づき施設整備を行った。しかし中運動公園プールが老朽化のため使用を中止している。この施設については、今後の方針について継続検討しているため、目標達成は困難と考える。	

(2) 構成する事務事業の昨年度（令和6年度）の取組結果 ※効果が上がった、下がったの判定は、事業効果を説明する指標のR5との比較となります。

①施策関連区分A（実施計画事業）

【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4			R5			R6			効果説明
				R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
18	生涯スポーツ指導者育成事業	市スポーツ指導者登録数	人	97	111	135	138	138	30	スポーツ指導者の資質向上及び確保はスポーツの振興に寄与する。			

【効果が下がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4			R5			R6			効果説明
				R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
1	スポーツ指導者活用事業	市スポーツ指導者登録数	人	97	111	110	0	0	0	部活動地域移行との連携を図る必要がある。			
16	スポーツ医科学センター整備事業	健康づくりに取り組んでいる市民の割合 週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	0	0	0	なし			
17	競技スポーツ強化事業	全国大会出場件数	件	294	355	156	199	72	300	基礎能力の向上のため、中学生を対象にS A Qトレーニングを実施することは、競技力向上に効果があると考える。			

②施策関連区分B（実施計画事業以外）

【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4			R5			R6			効果説明
				R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
4	アリーナたぬま等指定管理事業	指定管理施設利用者数 安全に使用できる市有スポーツ施設数	人 施設	122,634 41	181,417 41	182,639 41	0	74,409 0	75,624 0	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。			
7	学校開放事業	年間延べ利用日数	日	2,312	5,337	5,402	4,808	5,749	7,908	・市民が身近な学校施設を活用することにより、市民一人1スポーツを推進する。			
8	学校開放体育施設運営委員会活動事業	運営委員会数 学校開放利用登録者数	団体 人	16	16	16	277	277	277	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。			
14	渡良瀬川緑地運動施設維持管理事業	利用者数 安全に使用できる市有スポーツ施設数	人 施設	13,609 41	13,519 41	16,472 41	2,468	3,121	3,478	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。			
20	スポーツ協会運営支援事業	各支部・専門部の事業数	事業	52	54	78	7,650	7,650	7,650	スポーツ協会を支援することは、市民の体位向上並びに各競技団体等の強化に繋がり、スポーツ振興が図られる。			
21	スポーツ教室開催事業	スポーツ教室参加者数	人	557	598	622	929	1,077	1,209	スポーツを行うきっかけとなり、市民一人1スポーツの推進に繋がっている。			

【効果が下がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4			R5			R6			効果説明
				R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
13	渡良瀬川ふれあいスポーツ広場維持管理事業	利用者数 安全に使用できる市有スポーツ施設数 安全に使用できる市有スポーツ施設数	人 施設 施設	5,014 41 41	4,601 41 41	4,367 41 41	0	0	0	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。			
19	ウォーカリー大会開催支援事業	参加者数	人	253	252	0	70	70	80	ウォーカリー大会に参加することは、スポーツ・レクリエーションに親しみ、市民一人1スポーツの推進に繋がる。			
22	スポーツ少年団支援事業	登録団員数	人	535	696	505	1,000	350	400	加盟団体による体験会も開催しており、団員相互の交流のみならずスポーツするきっかけを創出することは、市民一人1スポーツの推進に繋がる。			
23	レクリエーション協会支援事業	週に1回以上運動している割合	%	39	41	40	485	585	585	レクリエーションに親しむ機会を提供することは、運動をする習慣を付けるきっかけとなり、市民一人1スポーツの推進に繋がる。			
24	レクリエーション大会開催支援事業	週に1回以上運動している割合	%	39	41	40	200	200	400	広く市民各層の参加を得、レクリエーション、体力づくり実践活動を展開し、市民の体力増強と健康で活力に満ちた市民生活の向上に寄与する。			
26	県南五市対抗親善総合競技大会参画事業	本市参加者数	人	217	322	280	403	644	455	多種目で行われる大会であり、市民一人1スポーツの推進に繋がる。			
27	県民スポーツ大会参加事業	本市代表選手数	人	-	229	226	0	197	379	多種目で行われる大会であり、市民一人1スポーツの推進に繋がる。			
28	佐野市スポーツ賞表彰事業	全国大会出場件数	件	294	355	156	245	422	295	活躍した選手を表彰することは、各選手の励みになると考える。			
31	市民体育祭開催事業	週に1回以上運動している割合	%	39	41	40	617	1,886	2,007	支部単位による編制となっていることから、市民間の交流が図られると併に市民一人1スポーツの推進に繋がる。			
33	全国大会等出場者支援事業	全国大会出場件数	件	294	355	156	3,320	2,870	4,000	全国レベル以上で活躍する選手を激励するで、さらなる飛躍の動機付けとなり、また、周囲に良い影響を与えることからスポーツ振興に繋がる。			
34	町会運動会開催支援事業	週に1回以上運動している割合	%	52	54	40	110	300	500	スポーツ協会を支援することは、市民の体位向上並びに各競技団体等の強化に繋がり、スポーツ振興が図られる。			
36	佐野市スポーツ推進委員設置事業	週に1回以上運動											

(3) 基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度（令和4年度）以降の取組状況）

②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）

・ジュニア世代への競技力の向上を図るため、スポーツ指導者を中学校の運動部等へ派遣する制度を構築します。（中学生のスポーツ競技力向上を図るため、専門的な知識を持つトレーナーを派遣し基礎トレーニングを実施した。）	・競技力の向上や健康づくり等を総合的に支援する機能を持つ「スポーツ医科学センター」の設置について、検討を行います。（スポーツ医科学センターについては、社会情勢の変化等を勘案した結果、令和6年度予算での執行を見送り、令和7年度に所要額を計上し、国の方針創生交付金を活用したうえで、民間事業者等と連携し、令和7年度より実証事業として実施する。）
--	--

(4) 令和6年度行政経営方針の取組状況

①令和6年度行政経営方針

・生活習慣病の予防や健康維持増進を図るため、スポーツ医科学センターの開設に向け、制度設計を行い整備を推進する。 ・指定管理者と協力して、施設利用者が安心して安全に利用できるよう、施設の計画的な維持管理修繕と施設整備計画の策定を行う。 ・ウイズコロナ及び熱中症対策を実施しながら、市民一人1スポーツを推進するため、広く参加が図られるよう、スポーツ教室やレクリエーション要素のあるスポーツイベントを実施する。 ・国民体育大会のレガシーとしてジュニア選手育成と指導力向上を目指し、基礎トレーニングなどの研修会を実施する。また、部活動地域移行後の運営団体に専門知識を持つ講師派遣を行い指導力向上の支援を行う。 ・部活動の地域移行を推進するため、地域部活動を運営する実施団体と協力し、受け皿となる組織づくりや運営体制を支援する。	・スポーツ医科学センターについては、社会情勢の変化等を勘案し、国の方針創生交付金を活用したうえで、民間事業者等と連携し、令和7年度より実証事業として実施できるよう準備を進めている。 ・スポーツ施設を利用者が安心・安全に利用できるよう、指定管理者と連携を図りながら修繕を実施した。大規模な改修工事については、長寿命化事業やスポーツ振興（じ助成（toto））を活用し、計画的に改修を実施した。 ・スポーツに取り組む市民を増やすためスポーツ・レクリエーションを始めるきっかけとなるスポーツ教室（R6:13種目20教室）やレクリエーションフェスティバル（R5:13種目）を開催した。 ・中学生のスポーツ競技力向上を図るため、専門的な知識を持つトレーナーを派遣し基礎トレーニング競技力向上講習会を実施した。 ・部活動地域移行が全校になった際の運営体制を検討して、関係団体の意向を確認し、指導員確保への協力について承諾を得た。
---	---

2. 課題と次年度（令和8年度）の取組

（1）課題＜環境変化や関係者の意見、要望等を踏まえて＞

- ①日頃から健康づくり、体力づくりや趣味などのために、スポーツ（ウォーキング、軽い運動などを含む）を行う市民の割合が低い。
- ②部活動地域展開推進計画に基づく指導者の確保
- ③部活動地域移行の本格実施に向けた、実証事業を踏まえた運営体制の整備
- ④スポーツ施設全体の老朽化が進行している。

（2）課題に対する今年度（令和7年度）内の取組状況、予定

- ①市民が参加しやすい、スポーツ大会やレクリエーション大会等を企画して開催する。
- ②地域クラブ活動の全校実施に向け、多方面への協力依頼や、類似事業と一体的に人材を確保するなどの方法により、確実に指導員を確保する。
- ③地域クラブ活動運営の委託仕様を整理し、運営を担える市内外の法人格を有する団体や民間事業者の情報を収集する。
- ④スポーツ施設の改修や修繕を行うとともに、スポーツ施設の更新などの構想（計画）を令和8年度に策定するための準備を進める。

（3）次年度（令和8年度）の取組（案）

- ①スポーツ大会やレクリエーション大会等の参加者に対し実施するアンケートの結果を基に、魅力的なイベントを企画する。
- ②地域クラブ活動の継続的な運営のため、確実な指導者の確保に資する派遣登録のしきみを構築するとともに、指導力の向上を図る。
- ③地域クラブ活動の運営体制の方針を確定し、それに向けての協議や事務スケジュールを立て計画的に進める。
- ④スポーツ施設の改修や修繕を実施するとともに、スポーツ施設の更新などの構想（計画）を策定する。